

## ～2017 海外交流派遣研修報告～

七飯中学校 2年 おさだ 長田 かいと 開渡

### 1 日目・午前 8 時 30 分 函館空港

ついに出発当日。見送りには家族が来て、僕は今後の期待感で一杯だった。函館から飛行機で羽田へ。そこからバスで成田に着くと、JAL008 便で米国・ボストンローガン国際空港へ。その後、コンコード・カーライル高校（以下 CCHS）のスクールバスでコンコードへ。

### 同 日・午後 7 時 30 分 CCHS 図書館

ホストファミリーと対面。僕はキャンチオ一家にお世話になった。ホストマザーのジュリアンさん、ホストファザーのレーモンさん、そして息子のアレックス、娘のジュリア（京都在住）の 4 人家族。皆さんはとても優しくかった。帰宅後はすぐに眠ってしまった。

### 2 日目・午前 7 時 40 分 CCHS 校内

朝はシリアルを食べ登校。アニメーションの授業を受け、昼はドッジボールに参戦。白熱の試合の後は演劇クラスに参加し、カフェテリアで昼食。サンドウィッチが美味しかった。昼からはサイファイクラブでアニメを鑑賞して爆笑した。帰宅すると、アレックスとゲームをして楽しんだ。

### 3 日目・正午頃 CCHS カフェテリア

当日最大の行事は文化紹介ワークショップ。明治期以降に普及した日本の伝統的玩具のけん玉などを紹介し、大盛況だった。

### 同 日・夕刻 キャンチオ邸

僕はこの日、ファミリーのために練習した「赤とんぼ」をピアノで披露した。七飯の隣町・北斗で、大正期の詩人・三木露風により作詞され、山田耕作が作曲したこの曲。喜んでくれて良かった。夕食後は家族で日本の文化について話した。千年の都・京都、武家の古都・鎌倉、そして名峰・富士山。アレックスは昔、富士山に登ったことがあるそうだ。驚き！！



1775. 4. 19 オールドノースブリッジ  
レキシントン・コンコードの戦い

### 4 日目・午前 9 時頃 WIQH ラジオ局

その日はまず、CCHS の歴史について説明を受け、それからラジオ出演。スムーズに天気予報ができた。そして、コンコード町内観光のため僕ら一行はバスに乗った。

同 日・午前 10 時頃 スクールバス車内

最初はオールドノースブリッジへ。独立戦争勃発の地で、歴史のある場所だ。次にミニットマン像。農民は 1 分で武器を取り、兵士となったと言われている、独立戦争で戦った農民兵の像だ。最後はウォールデンpond。美しい風景、ヘンリー・D・ソローが生活した跡を見学した。

同 日・CCTV 収録スタジオ

さらにテレビへの出演。事前に準備された質問に英語で答えた。噛むことなく、緊張もしなかった。その他、この日は図書館の探索中、なぜか突然全編英語の辞書を渡されたり、CCHS 吹奏楽部を訪問した際、僕が七中の吹奏楽部顧問・小野寺徹先生を紹介すると、吹奏楽部員が皆、OH,オノデラサン!と連呼するなど、面白い 1 日だった。いつか彼らと小野寺先生の夢の共演は実現するのだろうか。

5 日目・正午 ダドリー邸

ポットラックパーティの日。みんなで練習したイカ踊りを踊ると、瑠那さんは当日、僕は 6 日後が誕生日だったので、ケーキでお祝いしてくれた。嬉しかったが、ケーキの甘さに驚いた。この日の夕方はコンコード博物館を訪れ、この地で暮らした「若草物語」著者、ルイザ・メイ・オルコットについて学んだ。

6 日目・午後 4 時 30 分 ボウリング場

この日はリング狩りと、1692 年に計 19 名が処刑された「魔女裁判」の街セーラムに行くはずだったが、豪雨で中止。急遽ショッピングツアーをした後、ボウリングに来たのだ。アメリカのピンはまるで煙草のようで、ボールは小さめで 3 回投げられるというルール。僕は初め 10 点台だったが、終わりには慣れて 60 点台をとることができた。楽しい 1 日だった。



コンコード図書館前  
左はアレックス

7 日目・午前 10 時頃 ハーバード大学生協

世界最高峰の大学。1636 年 J・ハーバードの寄付により設置されたハーバート大学。僕は大学の生協で買い物をしたが、予想よりも遥かに高価で、この日持参したお金は全てここで消え、コストコなどでそれ程安い物があっても買えず、虚しかった。

同 日・晩刻 キャンチオ邸

コンコード最後の夜は、僕が昔から習っている少林寺拳法をレーモンさんと練習したり、僕のピアノとアレックスのチェロでジブリの名作「千と千尋の神隠し」主題歌、「いつも何度でも」を演奏し、ジュリアンさん、レーモンさん、アレックスと再会を約束した。

## 8日目・早朝 フェアリーランド駐車場

コンコードの人達と「バヨナラ」で別れると、僕ら一行は6時間かけてニューヨーク(以下NY)へ。途中、ポーツマス条約の締結地であるポーツマス市付近を通過し、遂にNY市内、セントラルパークを見て宿泊先ウェリントンホテルへ。トップオブザロックに登った後、タイムズスクエアで食事。何も言わなくても注ぎ足される激甘飲料と闘い、「ホワイトじゃなくグリーンの」自由の女神の置物等を買ってホテルに戻る。世界の交差点は眩しく、深夜も眠らなかった。

## 9日目・午前10時頃 国連本部

日の丸も風になびく国連本部。1945年10月、連合国51か国の調印で発足した国連。全編英語ツアーの中、あの総会や、世界平和に関する展示を拝見。長崎の原爆の被害にあった石像もあり、衝撃を受けた。



国連本部

## 同日・午後2時頃 リバティ島

今から遡ること131年前、エッフェルが設計した人類の自由と平等の象徴、自由の女神像がリバティ島に建てられた。今回我々は台座まで登ることができた。良い眺めだった。帰りのバスの中でふと見ると、僕以外の生徒メンバーは今にも折れそうな首の角度で全員爆睡だった。

## 10日目・午前10時30分頃 JFK 空港

いよいよアメリカを離れる。小さな僕の従姉妹のため縫い包みのお土産を購入。そろそろ家族と和食が恋しくなってきた。

## 11日目・夕刻 成田空港付近

七飯に帰る前に、成田で1泊。時差ボケのすごい1日だった。テレビではNYが舞台の映画をやっていて、つい最近までここにいたのかと思いながら、僕はそれを見ていた。

## 最終日・午後2時10分頃 函館空港

羽田でドルと円の両替を失敗(小銭残り大量)しながらも、こうして無事に函館に着き、長い研修は終わった。

## まとめ ～未来をつくる～

僕はこの研修で多くの歴史を学んだ。コンコード、セーラム、アメリカの独立と移民の歴史など。日本の歴史(各時代の文化、音楽など)も見直す良いきっかけになった。この機会を与えて下さった全ての人に感謝したい。そして、トム・カーティン氏の尽力で続いた七飯とコンコードの友好の歴史が、今後も続くことを願う。